



平成26年8月豪雨災害から学ぶ

主催：高知大学総合研究センター防災部門 共催：土木学会四国支部・水工学委員会合同四国水害調査団

会場：

高知大学朝倉キャンパス
メディアの森6Fホール

〒780-8520 高知市曙町二丁目5番1号
Tel：088-844-0111(代)
バス「朝倉高知大学前」下車すぐ
路面電車「朝倉(高知大学前)」下車すぐ
JR朝倉駅(土讃線)徒歩3分



日時：

2014年11月22日(土)

13:00-17:00

受付：12:00から

定員：100名(先着順)

入場無料

プログラム

- 13:00-13:05 開会挨拶
笹原 克夫 (高知大学総合研究センター 教授)
- 13:05-13:15 趣旨説明
岡田 将治 (土木学会水工学委員会 四国水害調査団 幹事長)

第一部 平成26年8月豪雨災害調査報告

- 13:15-13:45 2014年8月の集中豪雨の発生要因
佐々 浩司 (高知大学総合研究センター 教授)
- 13:45-14:15 鏡川流域の被害と洪水被害の軽減策
岡田 将治 (高知工業高等専門学校 准教授)
- 14:15-14:45 奈半利川流域の被害と中小河川における防災の課題
張 浩 (高知大学総合研究センター 准教授)
- 14:45-15:15 大豊町の地すべり災害の実態と教訓
笹原 克夫 (高知大学総合研究センター 教授)
- 15:15-15:45 北川村の斜面崩壊と孤立への備え
原 忠 (高知大学総合研究センター 教授)

15:45-15:55 休憩

第二部 豪雨被害軽減に向けた取り組みに関する総合討論

- 15:55-16:55 パネルディスカッション
コーディネーター
岡林 宏二郎 (高知工業高等専門学校 教授)
- 16:55-17:00 閉会挨拶
原 忠 (高知大学総合研究センター 教授)

事務局：高知大学総合研究センター防災部門 URL：<http://www.kochi-u.ac.jp/src/bousai.htm>

問合せ：Tel: 088-844-8891 Fax: 088-844-8926 E-mail: jm-kataoka@kochi-u.ac.jp